

1. 環境チャレンジ目標2030



環境チャレンジ目標 エコチャレ2030

(※2018年策定)

目標年度：2030年度 2030年に向けた環境チャレンジ目標を策定し、取り組みを推進しています。

チャレンジ1 事業活動におけるCO₂排出量を半減！

2050年度には、90%削減を目指す！

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替

チャレンジ2 事業活動における食品廃棄物を半減！

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンク等への食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上

チャレンジ3 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進
- 容器包装の削減

チャレンジ4 組合員とともにエシカル消費を拡大！

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大

2. 「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2020年度計画

<チャレンジ1> CO₂排出量を半減！

- 再エネ100%事業所の対象事業所拡大を検討
- 省エネチューニングを継続して実施
- 営業車に電気自動車導入を引き続き検討
- 設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進(冷ケース・LED・空調)

<チャレンジ2> 食品廃棄物を半減！

- 店舗事業における食品ロス削減を継続強化
- 食品リサイクルの継続強化

<チャレンジ3> 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

- 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進
- コープでんきの地産地消の取組みを推進
- コープでんきの電源開発
- コープでんき加入件数の拡大
- 「脱プラ・プロジェクト」を通じ、プラ備品や象徴的な商品包材の薄肉化・素材切替、および広報強化
- 不要になった羽毛製品(ダウンジャケット・羽毛布団)の店頭回収拡大

<チャレンジ4> 組合員とともにエシカル消費を拡大！

- レジ袋無料配布全面中止をはじめ、組合員とともにすすめる脱プラスチックの取り組みを推進
- 年2回のフードドライブ集中取組みと並行し、常時回収を水平展開

その他

- SDGsに関する学習・普及活動を推進
- 広報物へのFSC認証紙使用の促進

CO₂削減の取り組み



<https://eco.coop-kobe.net/ecolife/>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

	単位	合計	店舗	工場	宅配	物流	本部	子会社
2013年度実績	t-CO ₂	129,354	68,898	15,765	11,573	17,172	3,104	12,842
2018年度実績	t-CO ₂	95,782	43,425	14,429	9,410	14,825	2,661	11,032
2030年度計画	t-CO ₂	70,336	29,962	12,541	7,165	10,833	2,087	7,748
2030年度計画/2013年度実績	%	54	43	80	62	63	67	60
2018年度実績/2013年度実績	%	74	63	92	81	86	86	86



※URLをクリックすると関連情報が表示されます

コープこうべグループが進める太陽光発電所一覧

	太陽光発電所	所在地	運転開始	売電/自家消費	出力規模 (kW)	年間予想発電量 (kWh)	世帯数換算(※) (世帯)
1	生活文化センター	兵庫県東灘区田中町	2007年 7月	自家消費	30	26,662	7
2	住吉事務所	兵庫県東灘区住吉本町	2007年11月	自家消費	3	6,650	2
3	コープ甲子園口	兵庫県西宮市二見町	2009年11月	自家消費	20	24,468	7
4	鳴尾浜	兵庫県西宮市鳴尾浜	2013年 9月	売電	825	833,770	231
5	稲美	兵庫県加古郡稲美町	2013年 9月	売電	151	154,350	43
6	北神戸	兵庫県神戸市北区八多町	2013年11月	売電	258	259,833	72
7	姫路東	兵庫県姫路市別所町	2014年 1月	売電	310	311,141	86
8	氷上	兵庫県丹波市氷上町	2014年 3月	売電	305	292,280	81
9	高槻	大阪府高槻市玉川	2014年 6月	売電	257	254,131	71
10	三木三津田	兵庫県三木市志染町	2014年 9月	売電	2590	2,494,904	693
11	あこや学園	兵庫県尼崎市三反田町	2015年 6月	売電	26	28,355	8
12	西播磨	兵庫県たつの市揖西町	2015年 6月	売電	508	611,171	170
13	神吉	兵庫県加古川市東神吉町	2015年 6月	売電	51	57,802	16
14	WJS魚住	兵庫県明石市魚住町	2016年 2月	売電	361	370,990	103
15	須磨	兵庫県神戸市須磨区弥栄町	2016年 3月	売電	235	238,693	66
16	尼崎	兵庫県尼崎市猪名寺	2016年 3月	売電	217	220,880	61
17	丹波	兵庫県丹波篠山市吹新	2016年 3月	売電	175	168,067	46
18	大王丹波	兵庫県丹波市山南町	2016年 7月	売電	502	535,679	148
19	箕面	大阪府茨木市藤の里	2016年 9月	売電	179	179,485	49
20	淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2016年12月	売電	60	62,135	17
21	川西	兵庫県川西市東畦野	2017年 3月	売電	50	48,226	13
22	西神戸	神戸市西区玉津町	2017年 6月	売電	609	586,983	172
23	伊丹	兵庫県川西市久代	2017年 9月	売電	212	206,001	57
24	協同購入センター伊丹	兵庫県川西市久代	2017年10月	自家消費	29	28,250	8
25	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上	2018年10月	自家消費	158	164,891	46
26	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町	2018年11月	自家消費	207	199,540	55
27	コープ西明石	兵庫県明石市西明石北町	2019年 7月	自家消費	48	51,618	14
28	トヨタ神戸自動車大学校	兵庫県神戸市西区学園東町	2019年 8月	売電	77	87,951	24
29	協同購入センター淡路	兵庫県南あわじ市榎列	2019年12月	自家消費	22	24,636	7
30	みずほ協同農園 ソーラーシェアリング	兵庫県三木市細川町	2020年 1月	売電	83	91,480	25
	合計				8,558	8,621,022	2,398

(※)一般家庭の年間消費電力量を1世帯あたり3,600kWhとして算出

コープこうべの再生可能エネルギー100%施設

1	住吉事務所	兵庫県東灘区住吉本町
2	生活文化センター	兵庫県東灘区田中町
3	生活文化センター西館	兵庫県東灘区田中町
4	コープデイズ神戸西	兵庫県神戸市西区池上
5	協同購入センター伊丹	兵庫県川西市久代
6	コープデイズ豊岡	兵庫県豊岡市加広町
7	コープ西明石	兵庫県明石市西明石北町
8	協同学苑	兵庫県三木市志染町



組合員からの回収量

(単位：kg)

回収品目	回収業態		2015	2016	2017	2018	2019
	店舗	宅配					
紙パック	○	○	324,458	320,420	307,783	308,615	312,584
飲料缶	○		281,140	258,441	261,338	247,695	245,792
発泡トレイ	○		183,913	171,359	161,132	157,306	160,046
ペットボトル	○		499,187	502,106	490,831	521,262	509,453
ペットボトルキャップ	○		-	28,195	28,388	31,674	33,128
透明トレイ・卵パック	○		113,275	116,975	121,804	128,316	143,501
卵パック		○	35,073	38,302	39,057	43,316	48,748
商品カタログ「めーむ」		○	6,315,724	6,614,308	7,054,323	7,942,317	7,976,606
商品配達用ポリ袋・帳票袋		○	87,650	83,767	102,018	120,441	142,963

使用済小型家電回収BOXの設置状況

コープこうべでは、行政の回収のしくみや要請に応じて、回収ボックスを設置しています。

行政区	回収開始	設置店舗名
神戸市	2014年 4月	コープリビング甲南
明石市	2012年11月	コープ西明石
	2017年10月	コープ大蔵谷
	2019年 9月	コープ朝霧
	2019年 9月	コープ大久保
	2019年 9月	コープ魚住
西宮市	2015年11月	コープ武庫川
	2015年11月	コープ北口食彩館
	2015年11月	コープ西宮東
	2017年 4月	コープ甲陽園
	2017年 4月	コープ西宮南
	2017年 4月	コープマリナパーク
	2017年 4月	コープ西宮北
高砂市	2016年10月	コープ高砂

※小型家電リサイクル法

使用済み小型家電に含まれる鉄やアルミ、レアメタルなどの貴重な資源の再資源化を目的とした「小型家電リサイクル法」に基づき、各自治体では使用済み小型家電の回収を進めています。回収した使用済み小型家電は、国の認定事業者によって回収・リサイクルされ、2020東京オリンピックのメダルに生まれ変わります。

※都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト

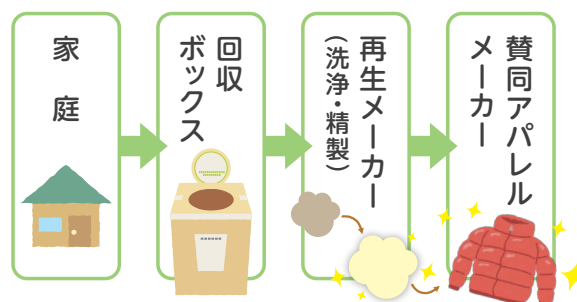
羽毛布団・ダウンジャケット回収店舗

2020年5月1日時点

回収開始日	店舗名	住 所
2018年10月1日	コープデイズ神戸北町	神戸市北区日の峰2丁目7
2019年5月1日	シーア	神戸市東灘区住吉本町1丁目2番1号
	コープデイズ神戸西	神戸市西区池上3丁目3番1号
	コープデイズ相生	相生市旭3丁目7番6号
	コープデイズ芦屋	芦屋市大原町9-1-304
	コープ西宮	西宮市池田町11番1号
	コープ姫路田寺	姫路市田寺3丁目3番11号
	コープ横尾	神戸市須磨区横尾1丁目5番地(リファーレ横尾)
	コープ大久保	明石市大久保町大窪字横山2545-8
	コープ立花	尼崎市立花町1丁目15番20号
	コープ西宮北	西宮市山口町下山口5丁目13番22号
	コープ北口食彩館	西宮市北口町1番2号136
2020年5月1日	コープデイズ豊岡	豊岡市加広町7-32
	コープ深江	神戸市東灘区深江北町3-9-15
	コープ宝塚	宝塚市中州1-1-1(アピアきた内)
	コープ安倉	宝塚市安倉南4-38-1
	コープ園田	尼崎市東園田町4-104-1
	コープ三木緑が丘	三木市緑が丘町中1-7-1
	コープ志染	三木市志染町西自由が丘1-166
	コープ西明石	明石市西明石北町1-2-1
	コープ高砂	高砂市松陽1-10-43
	コープ龍野	たつの市龍野町島田10-1
	コープ兵庫	神戸市兵庫区駅南通5-1-2-100
	コープ西神	神戸市西区春日台3-3(かすがプラザ内)
	コープ仁川	宝塚市仁川北2-7-1(さらら仁川南館)
	コープ鈴蘭台東	神戸市北区鈴蘭台北町1-12-5
	コープ魚住	明石市魚住町錦が丘4-3-1(魚住モール内)
	コープ東豊中	豊中市東豊中町4-3-13
	コープリビング甲南	神戸市東灘区甲南町2-1-20

グリーンダウンプロジェクト

羽毛は水鳥から採取される有限な資源です。需要の高まりに対し、羽毛資源は減少傾向です。限りある資源を有効活用する取り組みとして、羽毛布団・ダウンジャケットの回収・リサイクルを開始しています。回収した羽毛製品は、洗浄・精製加工され、再生羽毛(グリーンダウン)として、広く社会で有効利用されます。



2019年度

①リサイクル量		トン	3,912.1
店 舗	野菜・肉の加工くず堆肥化(コープ土づくりセンター)	トン	426.5
	肉の加工くず飼料化(外部委託)	トン	17.8
	魚アラの飼料化(外部委託)	トン	381.5
食品工場	バイオマス発電への投入	トン	147.8
	パン耳等の飼料化	トン	744.6
	おからの乾燥・飼料化	トン	686.6
	おからの乾燥(水分量)	トン	1,482.1
製造くずの堆肥化(コープ土づくりセンター)		トン	25.2
②食品廃棄物の廃棄量		トン	1,617.0
リサイクル率 ①÷(①+②)		%	70.8
食品リサイクル法上の再生利用等実施率		%	79.5

※食品リサイクル法上の再生利用等実施率には、発生抑制量などが勘案されています。

1. コープ土づくりセンターでのリサイクルについて

神戸・三木・明石・芦屋・西宮市内の40店舗から野菜と肉の加工くずを、また食品工場から製造くず(めんなど)を回収しています。回収した加工くずは、三木市にあるコープ土づくりセンターで、堆肥製造の原料として活用されています。

製造された堆肥は、土づくりセンターに隣接する(有)みずほ協同農園で使用され、収穫した農作物はコープこうべの店舗で供給されています。

2. 食品工場でのリサイクルについて

①豆腐製造の際に発生する生おからを乾燥し、飼料の原料として売却しています。

②おから以外の食品廃棄物を分解し、その過程で発生するメタンガスを取り出し、工場内の燃料として活用しています。

③製造過程で発生する一部の製造くず(めんなど)を、コープ土づくりセンターで堆肥化しています。

メタン化

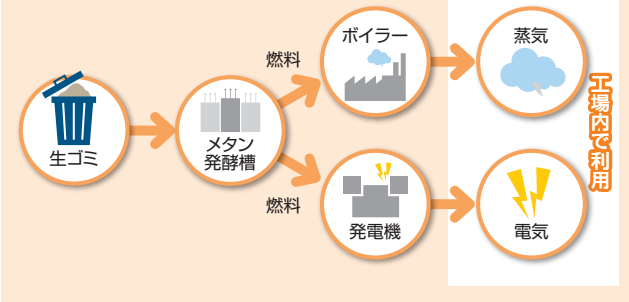
六甲アイランド食品工場のバイオマス発電

パンや豆腐などを製造する六甲アイランド食品工場では、メタン発酵を利用したバイオマス発電などにより、約97%の食品廃棄物をリサイクルしています。



バイオマス発電

■バイオマス発電のしくみ



コープ土づくりセンターの実績

年度		2015	2016	2017	2018	2019
食品残さ回収量(原料投入量)	トン	641	579	665	681	451
堆肥生産量	トン	226	234	141	100	84



※URLをクリックすると関連情報が表示されます

エコファーム利用者の推移

年度		2015	2016	2017	2018	2019
体験農園(貸し農園)区画数	区画	285	260	239	217	176
エコファーム講座参加者数(のべ)	人	201	209	219	31	0
マイファーム(ミニ農園オーナー制)参加家族数(のべ)	家族	1,120	910	688	534	364
視察学習訪問者数(のべ)	人	1,517	1,994	1,245	848	1,022
エコファームくらぶ(ボランティア)参加者数	人	68	65	59	44	46

マイバッグ運動の取り組み



※URLをクリックすると関連情報が表示されます

1. マイバッグ運動の成果

年度		2015	2016	2017	2018	2019
持参率	%	87.0	86.9	86.8	89.9	91.2
節約枚数	枚	74,516,790	72,895,804	72,661,742	75,132,824	75,639,899
原油節約量(200ℓのドラム缶に換算)	本	7,041	6,889	6,867	7,100	7,148

2. レジ袋代金の活用

2019年度に活用したレジ袋代金 45,644,032円 2019年度に活用したレジ袋代金の内訳は、以下のとおりです。	
項目	金額(円)
● 森林整備による生物多様性保全及び食・くらしと環境のつながりの体験学習推進。 ● 地域での活動を支える基盤づくりのために、西宮市や近隣の学校等と連携強化。	1,575,268
● 「ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)」「兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)」を通じ、食べものと食文化、生態系・環境とのつながりに気づき、広める取り組みを支援。 ● 地区単位で体験的学習のフィールドを設定して行っている活動への支援。	3,222,881
● エコファームの活性化に向けた学習プログラムの充実と展開	221,032
● 脱プラスチックに向けた取り組みのPRツールとして、新加入組合員向けのマイバッグを作成。	11,583,000
● SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け、再生可能エネルギーや食品ロス、脱プラスチックの問題など最新の環境問題について、組合員を対象にした学習会の開催や学習ツールの作成、組合員への広報など。	578,291
● コープ甲子園口の壁面緑化のメンテナンス	370,700
● 容器包装のリサイクルに必要な費用の一部に充当	28,092,860

3.行政や消費者団体とのレジ袋削減協定

	行政区名	締結年月日	三者協定締結日	他社	協 定 名
1	神戸市	2006年12月27日	2007年12月22日 (2011年12月22日更新)	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
2	西脇市	2007年3月13日			マイバッグ運動の取り組みに関する協定
3	三木市	2007年3月29日	2009年1月16日 (2009年1月16日更新)	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
4	明石市	2007年5月22日	2011年11月25日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
5	豊岡市	2007年5月25日			レジ袋削減の取り組みに関する協定
6	姫路市	2007年5月29日	2008年9月1日	●	姫路市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
7	相生市	2007年5月30日	2008年7月20日	●	マイバッグ運動の取り組みに関する協定
8	芦屋市	2007年5月31日			レジ袋削減に向けたマイバッグ運動の取り組みに関する協定
9	西宮市	2007年6月25日	2011年3月24日 (2015年4月1日更新)	●	西宮市レジ袋の削減等に関する協定
10	丹波市	2007年7月10日			レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
11	稲美町	2007年7月12日	2016年6月3日	●	稲美町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
12	三田市	2007年8月24日	2008年12月15日	●	三田市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
13	加古川市	2008年1月26日	2008年1月26日 (2015年11月17日更新)	●	加古川市におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
14	上郡町	2008年3月3日	同左	●	マイバッグ持参運動推進の取り組みに関する協定
15	たつの市	2008年8月8日	同左	●	レジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
16	尼崎市	2008年10月3日	同左 (2015年2月19日更新)	●	尼崎市におけるレジ袋削減等に関する環境協定
17	加西市	2009年8月24日	同左	●	加西市におけるレジ袋削減等に向けた取り組みに関する協定
18	宝塚市	2011年4月13日	2011年4月13日	●	レジ袋の削減等に関する協定
19	播磨町	2016年2月19日	同左	●	播磨町におけるレジ袋削減に向けた取り組みに関する協定
20	豊中市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
21	池田市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
22	箕面市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
23	吹田市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
24	高槻市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
25	茨木市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
26	摂津市	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
27	能勢町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
28	豊能町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定
29	島本町	2019年3月26日		●	北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定

※豊中市(2008年4月13日)、吹田市(2009年10月2日)に締結されていた協定は、2019年3月26日の北摂地域のマイバッグ協定に包含される。
2020年4月現在締結自治体数：23市6町

環境学習／くらしの見直し

【コープの森・社家郷山での森林整備・学習活動】



<https://kumikatsu.kobe.coop/theme5/#theme5-shakegou>

※URLをクリックすると関連情報が表示されます

2019年度コープの森・社家郷山での活動参加人数

区分	月日	内容	参加人数	
組合員向け学習イベント	エコひろば ～自然との接点をつくる 導入プログラム	(2020年) 1月19日(日)	里山の生きもの調査隊! 冬鳥を観察しよう	3
	遊ぼう屋 ～食農、循環、生物多様性を学ぶ ステップアップ・プログラム	5月3日(金・祝)	里山のくらし探検隊	41
		6月16日(日)	里山と海のつながり体験～兵庫県産の海の幸を野外調理	19
		8月4日(日)	里山昆虫採集&標本づくり	30
		10月27日(日)	芋ほりと恵みの水をたどるハイキング	19
		12月8日(日)	社家郷山落ち葉かきと焼き芋体験	45
		12月14日(土)	社家郷山落ち葉かきと焼き芋体験	45
ボランティア活動	にしのみや都市型里山ボランティアフォローアップ研修 ～社家郷山、甲山周辺の保全整備を支えるボランティア育成	5月12日(日)	西宮方式の里山管理と甲山・社家郷山の魅力	33
		9月23日(月・祝)	生物多様性に配慮した森林整備と生物調査	11
		9月28日(土)	循環型里山作りの整備研修	10
		10月13日(日)	機材を使った里山づくり チェンソー研修	11
	都市型里山ボランティアによる 里山の保全・整備活動	4月27日(土)	ササなどの下草刈りとヒサカキの伐採	5
		6月12日(水)	キャンプ場西側 コナラの伐採とたま切り	9
		7月3日(水)	キャンプ場西側 ヒサカキとソヨゴの伐採 イベント用体験スペースの確保	5
		10月9日(水)	キャンプ場西側 コナラの伐採とたま切りの運搬	9
		11月6日(水)	キャンプ場西側 コナラの伐採	9
		11月13日(水)	キャンプ場西側 コナラとヒサカキの伐採	8
		11月20日(水)	キャンプ場西側 コナラの伐採	7
		(2020年) 2月29日(土)	キャンプ場西側 ソヨゴの伐採	7
	職員ボランティアによる 里山の保全・整備活動	4月21日(日)	コバミツひろば除伐	5
		6月17日(月)	ネコヤナギの池～長谷原付近の除草	9
		7月21日(日)	六甲保養荘側入り口ひろば、風の道付近の除草	6
		8月18日(日)	風の道周辺の除草	11
		9月15日(日)	コバミツひろばとほこら周辺の整備・除草	6
		11月17日(日)	ハイキング道散策&ボランティア交流	48
		(2020年) 1月19日(日)	ハイキング道整備&体験プログラム共有	9
	里山の動植物の調査活動	5月24日(金)	草本層の調査と樹名板下調べ	24
		9月20日(金)	草本層の調査と樹名板下調べ	13
		11月15日(金)	草本層の調査と樹名板取り付け	10
		(2020年) 1月17日(金)	草本層の調査	8
地区や地域で企画した イベント・学習活動	4月21日(日)	レンジャーくらぶイベント「ツツジ咲くしゃげごう山で“自然”と遊ぼう♪」	13	
	10月13日(日)	レンジャーくらぶイベント「色づきはじめた秋の里山へ『しゃげごう山ハイキング』」	4	
	11月6日(水)	農とくらしをつなぐサポーター養成講座(コープの森活動の学習)	10	
	11月9日(土)	ひょうご森のまつり2019へ出展(兵庫県立甲山森林公園)	39	
	11月18日(月)	レンジャーくらぶイベント「秋色の里山をハイキング『しゃげごう山を歩こう』」	12	
	(2020年) 1月15日(水)	農とくらしをつなぐサポーター養成講座(森林整備体験)	11	



1. 助成団体および助成総額

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
助成団体	団体	21	19	22	24	25
助成総額	千円	2,680	2,570	3,000	3,000	3,000
信託財産残高	円	372,202,486	370,852,321	368,842,321	367,201,390	362,946,690

2. 2019年度の助成団体 ★：2019年度にはじめて助成を受けた団体

■自然環境保護および啓発の実践活動部門・・・25団体

	助成団体	活動内容や助成金の使途
1	高砂海浜公園海辺の保全集いの会	県立高砂海浜公園の海辺でヘドロの原因となる「アオサ」を市民参加イベントで回収し、たい肥に。干潟の生き物観察も行う。*漁船借り上げ、送迎バス代に使用。
2	一般社団法人 八チ北高原自然協会	県指定天然記念物の「大笹のザゼンソウ」群生地の保全のための活用。*杉の間伐や水源確保のための材料購入に使用。
3	いたやにすと	「板宿の森」の再生。*植樹用のプレートや草刈り機の刃などの材料費に活用。
4	よこおみち森もりの会	神戸市須磨区横尾地区…野路菊育成、低木植栽、雑木林・竹ヤブ整備。友が丘地区…竹林道保全、「つつじの森づくり」に向けた植栽。*整備用具、安全講習受講等に使用。
5	多紀連山のクリンソウを守る会	多紀連山に自生するクリンソウ群生地保護のため、つたや障害樹木を伐採。自生地及び周辺の生育状況の定点観察を行う。*遊歩道の整備資材、講師謝金、参考図書購入等に活用。
6	淡路東浦ため池・里海交流保全協議会	漁業資源を豊かにするため、ため池管理者と漁業者が連携したかいぼり(池の清掃)を行うとともに、小学生の環境学習フィールドを提供。*かいぼり用具、鯉の稚魚購入に活用。
7	丹波地域のホトケドジョウを守る会	丹波地域の数カ所ではしか生息が確認されていないホトケドジョウ保全を目的に、モニタリング調査、堆積土砂除去を行う。*検査試薬、生息地補修用品等に活用。
8	神戸生物クラブ	自然観察、飼育栽培方法の学習、採集物の鑑定などの体験学習などで、幼少期から自然と親しむことを通じ、生物多様性への関心を醸成。*ガイドブック、チラシ作成に活用。
9	あびき湿原保存会	加西市の生物多様性の維持に資する生態系を保全。植生、地下水の水質調査を行う地元の学校と連携し、不要動植物の除去、散策路の整備を行う。*整備用具、肥料等に使用。
10	ヤッホの森湿地を育む会	たつの市にある、放置されて陸地化がすすむ湿地の不要植物除去、周辺森林の除伐により、貴重な動植物を保全。*整備用具・燃料、シカ柵資材等に利用。
11	ブルーアンドグリーンネットワーク	森から海に流れる「水」を介して自然環境の重要性や役割を伝えるため、海岸の動植物生息調査、見学会などを行う。*マップ作成・調査関係資材等に活用。
12	★森林ボランティア 菊炭友の会	小学生の「自然体験学習」によるクヌギの植樹と自生の桜・エドヒガン群落の保全。*防鹿対策のためのネットの購入に使用。
13	北播磨自然観察サポーターチーム おおぼこの会	小野市内の希少な動植物の生息調査、自然保護と伝承に取り組む人材の育成、次世代を担う子どもへの啓発活動を行う。*観察用具、会場費等に使用。
14	★神戸学生森林整備隊 こだま	学生によるキーナの森の整備と里山の継続的な管理のための技術や知識の継承。*森林整備用具やイベント用の材料購入に活用。
15	兵庫丹波オオムラサキの会	オオムラサキ舞う里山をめざし、生息調査継続によるマップ精度向上、学校の環境学習支援、増殖・放蝶活動に取り組む。*飼育ゲージ資材、幼虫調査に使用。
16	★大和フォレストクラブ	「大和の森」を周辺住民の憩いの場や子供の自然教育の場の機能を充実させるための環境を整える活動。*草刈り機や肥料、昆虫育成道具などに活用。
17	兵庫ウスイロヒョウモンモドキを守る会	数少ない生息地である八チ高原で、幼虫の食草であるオミナエシの植栽、幼虫の飼育・放蝶及び生息地の草刈り、シカ害対策を行う。*シカ柵・飼育ゲージ資材、種・苗代に使用。
18	NPO法人たつの・赤トンボを増やそう会	童謡「赤とんぼ」に歌われるアキアカネ。生育環境保全による復活の兆しを「ふるさと巡りツアー」、観察会などで周知。*講師謝金、ツアー・調査バス代に使用。
19	長谷口ミツガシワ湿地保存会	新温泉町で2003年に発見された希少種ミツガシワ保全のため、ヨシの刈り取り、シカ害からの保護柵の設置をすすめる。*除草用具、電気柵資材に使用。
20	六甲山を活用する会	六甲山の里山再生モデル地域の啓発拠点「まちっ子の森」整備、アセビ伐採による森林再生状況の追跡と効果検証。*調査関連用具、講師謝金、教材作成に活用。
21	特定非営利活動法人日本ハンザキ研究所	国の特別天然記念物オオサンショウウオ保全のため、生息環境、良好な孵化条件のモニタリング調査、個体確認を行う。*調査員の宿泊費・交通費に使用。
22	兵庫県立姫路飾西高等学校 自然科学部	絶滅危惧Ⅱ類の「トゲナベタムシ」の研究。*調査活動のための網、長靴、水槽などに活用。
23	★神戸山手女子中学校・高等学校(仮:カメら部)	兵庫県版レッドリストCランク「ニホンイシガメ」の調査研究及び保全活動。ニホンイシガメの飼料や飼育用ケースなどに活用。
24	武庫川流域圏ネットワーク	安全・安心で魅力ある武庫川づくりをめざし、河川清掃活動&学習、外来植物駆除、流域で活動する他団体との交流を行う。*河川清掃用具、講師謝金、パンフレット類印刷等に活用。
25	自然と文化の森協会	兵庫県レッドデータブック記載の猪名川自然林保全のため整備・清掃を行う。自然観察会などを通じ、地域住民の啓発に取り組む。*肥料、講師謝金、会場費等に使用。

SDGs 17の目標とコープこうべの取り組み



これまでコープこうべでは、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてきました。そしてこれからも、SDGsの17の目標につながる取り組みを進めていきます。

1 貧困をなくそう

目標1 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

- フードバンク、子ども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- 賀川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動

2 飢餓をゼロに

目標2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

- フードバンク、子ども食堂の取り組み
- レッドカップキャンペーン
- フェアトレード商品(コーヒーなど)の供給
- コープスフレンドリーバナナ
- フードプラン
- 産地地消の取り組み

3 すべての人に健康と福祉を

目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

- 健康志向食品、スマイルケア食(介護食品)の供給
- 福祉介護事業、サービス付高齢者向け住宅
- 共済事業
- 視覚障がい者対応の取り組み
- 見守り活動
- ピンクリボン運動支援

4 質の高い教育をみんなに

目標4 すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

- コープカルチャー等の文化事業、協同学苑事業
- コープの子育て支援事業「Terakoya」(学童保育)
- 阪神友愛食品(株)、(株)ゆうあいサポート・能力開発センターの運営
- 「協同組合の思想と実践」のユネスコ無形文化遺産への登録や「国際協同組合デー」を契機にした協同組合の価値の再認識

5 ジェンダー平等を実現しよう

目標5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワメントを行う

- 女性管理職の登用率向上
- 人事制度改革

6 安全な水とトイレを世界中に

目標6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

- コープ商品(水切り袋、廃油処理剤など)の供給
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- 住吉川清掃活動など
- コアノンスマイルスクールプロジェクト

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標7 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業

8 働きがいも経済成長も

目標8 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する

- 人事制度改革
- 阪神友愛食品(株)、(株)ゆうあいサポートでの障がい者就労支援
- 同一労働同一賃金に向けた取り組み
- ワークライフバランスの推進 ●ダイバーシティの取り組み
- 協同購入センター西神戸・伊丹の保育ルームの取り組み

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

目標9 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

- コープスフレンドリーバナナ
- コープ商品における産地指定商品など

10 人や国の不平等をなくそう

目標10 各国内及び各国間の不平等を是正する

- フェアトレード商品(コーヒーなど)の取り扱い
- コープスフレンドリーバナナ

11 住み続けられるまちづくりを

目標11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- 宅配事業、店舗事業、移動店舗、夕食宅配みいくる
- 拠点づくり、居場所・つどい場づくりの取り組み
- 買い物ん行こカーの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携
- 防災のローリングストックの取り組み
- 商品購入を通じた被災地復興支援(コープス芯付きわかめ、すこやが牛乳、メロンパン募金など)

12 つくる責任 つかう責任

目標12 持続可能な生産消費形態を確保する

- コープス、コープ商品全般 ●エシカル消費、エシカル月間の取り組み
- サプライチェーン全体を意識したCSR調達の推進
- フードプラン、エコファームでの資源循環、環境保全型農業の実践
- ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)・兵庫地場野菜振興プロジェクト(とれしゃき)
- 組合員の学習活動全般 ●援農ボランティア活動(職員・組合員)
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」

13 気候変動に具体的な対策を

目標13 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

- マイバップ運動、店頭リサイクル活動
- 温室効果ガス削減、省エネの取り組み
- (株)コープ環境サービスによる太陽光発電事業
- 再生可能エネルギーによる組合員への電力小売事業「コープでんき」、生協施設への電力供給事業
- 食品工場におけるゼロエミッション(バイオマス発電など)に向けた取り組み

14 海の豊かさを守ろう

目標14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

- 鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会への募金
- 沖縄恩納村のサンゴの森づくり(コープもずく)
- フードプランぶり ●ひょうご地魚推進プロジェクト(とれびち)
- 里山里海の取り組み
- 海ごみゼロウィークの海岸清掃活動

15 陸の豊かさも守ろう

目標15 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を防止する

- FSC認証商品の供給(コープティッシュ)
- レインフォレストアライアンスの商品の取り扱い
- ポルネオ緑の回復プロジェクト(コープ衣料用洗剤)
- 里山保全のための森林整備活動(コープの森・社家郷山)
- みんなの牧♥里プロジェクト ●尼崎21世紀の森

16 平和と公正をすべての人に

目標16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

- 賀川豊彦や協同組合、生協の歴史に関する学習活動
- NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けた「ヒバクシャ国際署名」の取り組み
- 憲法についての学習活動 ●ユニセフ協会との連携
- 民主的運営の推進 ●コンプライアンス自主行動指針

17 パートナリシップで目標を達成しよう

目標17 持続可能な開発実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

- 産直商品の開発・推進
- フードプラン
- ICA(国際協同組合同盟)との連携
- 協同組合間協同の取り組み
- 虹の仲間づくりカレッジの取り組み
- 地域団体、NPO、行政や自治体との連携

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



コープこうべ環境保全のあゆみ

	社会の動き	コープこうべの考え方や体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
70年代	1971	環境庁設置					
	1972	国連人間環境会議					
	1975					空ビン回収システムを整備	
	1977				根菜類13品目のトレイ包装を廃止		
	1978			買い物袋再利用運動を開始	<ul style="list-style-type: none"> 食品容器包装フィルムを塩ビからポリエチレンに変更 全店舗の野菜・果物売り場でノートレイを実施（一部品目を除く） 		
1979	滋賀県「琵琶湖の富栄養化防止条例」公布						
80年代	1981				<ul style="list-style-type: none"> 有リン洗剤の取り扱いを中止 せっけんキャンペーンを開始 卵パックを塩ビからポリエチレンに 		
	1982			排水チェック活動を開始			
	1984					全店でボタン電池の回収を開始	
	1986			第1回琵琶湖親子見学会を実施			
	1988				タルク入りトレイ(CTFトレイ)の導入		
1989	フロン全廃宣言採択(ヘルシンキ会議)	<ul style="list-style-type: none"> 総代会で「くらしの見直し」と地球環境を守る取り組みを強める」特別決議を採択 環境問題対策会議を設置 				食品工場にコジェネシステムと排水処理・有効利用設備を導入	
90年代	1990			コープの環境月間スタート	<ul style="list-style-type: none"> 環境統一マーク商品の供給を開始 水畜産トレイ包装商品の袋包装への切り替え開始 フロンガス使用のスプレー式商品の取り扱いを中止 	牛乳パックリサイクルが本格的にスタート	<ul style="list-style-type: none"> チラシ、包装紙、コピー紙、レシートなどの再生紙化を実施 業務用コンピューター用紙などの回収を開始
	1991		環境問題推進室設置	買い物袋再利用運動から買い物袋持参運動に	<ul style="list-style-type: none"> フードブラン第1号商品開発 環境統一マーク商品にサブマークを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 飲料用アルミ缶、スチール缶、トレイ、ペットボトルのリサイクル開始 クリーニングコーナーのハンガー回収を開始 	
	1992	環境と開発に関する国連会議(地球サミット)開催		<ul style="list-style-type: none"> 環境測定活動スタート 公益信託「コープ環境基金」を設立 			
	1993	環境基本法成立					生産事業部がタービンで自家発電開始
	1995	容器包装リサイクル法成立	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメント・環境監査システム本格スタート 組合員の環境委員会発足 	買い物袋持参運動拡大(必要な方は1袋5円で購入いただく方式に)		リサイクル推進功労者表彰で「通産大臣賞」を受賞	店舗の生ゴミを回収し堆肥を作る実験スタート
	1996	ISO14001が発効	総代会特別決議として「環境憲章」を採択		<ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫からのフロン回収を開始 通いコンテナ導入実験を開始 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル制服を採用 タルク入りトレイの再生原料を利用した買い物かご導入(~2002) 	
	1997	地球温暖化防止京都会議(COP3)開催	環境報告書が環境アクションプラン大賞(環境庁長官賞)受賞		小型焼却炉取り扱い自粛	コープミニ全店で5品目回収開始	芦屋市、尼崎市、伊丹市の店舗の魚箱リサイクル開始
	1998	家電リサイクル法成立	コープ武庫之荘ISO14001取得	コープグリーンロード運動をスタート	コープラップ(塩化ビニリデン製)取り扱い中止		<ul style="list-style-type: none"> コープ士づくりセンター完成(全店舗にてゴミの計測開始) (有)みずほ協同農園発足 ディーゼル車のガソリン車への切り替え完了 地球温暖化防止活動大臣表彰(低公害車部門)
	1999		<ul style="list-style-type: none"> 総合品質管理室設置 食品工場ISO14001取得 		塩素系の食品ラップの取り扱い中止		エコファーム施設の完成

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み	
2000年代	2000	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会形成推進基本法が成立 食品リサイクル法が成立 	全事業活動でISO14001取得	<ul style="list-style-type: none"> 虹っ子「エコチャレンジプログラム」をスタート マイかご、無料レンタル袋制度の導入 	着物リサイクルショップ「結」スタート	協同購入の商品情報紙「めーむ」の回収をスタート	
	2001	環境庁が環境省となる	第一次環境中期計画策定			協同購入で卵パック回収をスタート	<ul style="list-style-type: none"> エコファームを本格オープン 協同購入センター加古川にLPGスタンド設置
	2002		<ul style="list-style-type: none"> 食品工場ISO14001更新 環境推進室設置 	<ul style="list-style-type: none"> エコファームでマイファーム、エコファームクラブ開始 炭素税に対する見解まとめる 環境学習ボランティア活動開始 	食の環境配慮基準策定		<ul style="list-style-type: none"> 本部エコワーキングスタイル運動開始 「第8回全国環境保全型農業推進コンクール」の大賞受賞（みずほ協同農園）
	2003		全事業でのISO14001の更新	<ul style="list-style-type: none"> 虹っ子エコ&フードチャレンジプログラムスタート コープEARTくらぶが2カ所で立ち上がる 		協同購入で卵パック回収を休止	食品工場の廃棄物処理設備完成
	2004		第二次環境中期計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 環境省の「地球環境美化功績賞表彰」受賞 電気削減運動を開始 		協同購入で卵パック回収を再開	<ul style="list-style-type: none"> コープこうべの自主行動計画策定 農林水産省の「2004年度バイオマス利活用優良表彰」でバイオマス活用協議会会長賞受賞
	2005	京都議定書発効	ISO14001の環境マネジメントシステムを食品工場と統合	エコチェックキャンペーン全地域で展開	<ul style="list-style-type: none"> (有)みずほ協同農園の大根が「三木市議会議長賞」受賞 フードプラン管理規定の策定 	協同購入・個人宅配の配送時に使用する内袋回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> 食品工場のバイオマス利活用の取り組みが「ひょうごバイオマスecoモデル」第1号に認定 ライトダウンキャンペーン6店舗で試行
	2006		全事業活動でのISO14001更新	レジ袋のレジ精算スタートに向け、8店舗で先行実施		協同購入・個人宅配の帳票袋回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> ライトダウンキャンペーン全店規模で実施 コープ土づくりセンターと子会社の(株)協同食品センターが「平成18年度ひょうごバイオマスecoモデル」に認定
	2007		<ul style="list-style-type: none"> 総代会で「マイバッグ運動の推進とくらし見直しに関する」特別決議採択 第三次環境中期計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋のレジ精算、食品を扱う150店舗で実施 容器包装3R推進環境大臣大賞最優秀賞受賞 	コープスお買い物バッグの開発		
	2008	<ul style="list-style-type: none"> 京都議定書第一約束期間スタート G8環境大臣会合が神戸で開催 		<ul style="list-style-type: none"> 組合員から募集したエコメッセージをG8環境大臣会合に合わせて発信 兵庫県、西宮市と企業の森づくり協定締結 			バイオディーゼル燃料の取り組みを開始
2009			コープの森・社家郷山の活動方針が「保全活動推進委員会」で決定			省エネ活動の徹底によるCO ₂ 削減の取り組みを、一部の店舗で実験的に開始	

	社会の動き	コープこうべの考え方と体制づくり	くらしの見直し活動や地域での活動	商品開発・普及、包材削減の取り組み	リサイクルの取り組み	事業活動から発生する環境負荷削減の取り組み
2010	生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知で開催			<ul style="list-style-type: none"> ・フードプラン20周年 ・地産地消推進のためコープスに兵庫県産品をアピールするロゴ“ひょうご発”を導入 ・飼料米を使った「穂の実りたまご」開発 	店舗で卵パック・透明トレイの回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・コープ神吉を省エネのモデル店舗としてリニューアルオープン ・コープミニ御影北の店内照明すべてを実験的にLED化 ・省エネ活動の徹底によるCO₂削減の取り組みを全店展開
2011	東日本大震災発生	創立90周年を迎え、大阪北生活協同組合と合併 新生コープこうべスタート。大阪北地区が加わり、7地区体制になる	電力不足問題に対して夏と冬に省エネの学習会を開催			夏場の節電対策を強め、年間を通じて全事業所で省エネルギー、CO ₂ 削減の実施
2012	再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始	「共に生きる、未来につなげる」を基本方針として、将来のあるべきコープこうべの姿を模索する「次代コープこうべづくり」プロジェクトをスタート				住吉事務所が開西広域連合エコオフィス大賞「節電の励行部門賞」を受賞
2013		コープこうべのエネルギー政策を策定	シンポジウム「『コープの森・社家郷山』の魅力は高まったか?」開催		アルミ付紙パックの回収スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・コープ武庫之荘が省エネ型店舗としてリニューアルオープン ・鳴尾浜配送センターで太陽光発電事業を開始
2014		ISO14001の認証を返上し、自主運用に切り替え			<ul style="list-style-type: none"> ・子会社の株式会社サポートで店頭回収のペットボトルのプレス作業開始 ・玉津リサイクルセンター稼働（宅配の商品情報紙「めーむ」の圧縮作業を開始） 	雑がみの分別回収を全店展開
2015	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs採択 ・パリ協定採択 		<ul style="list-style-type: none"> ・第3回食と農林漁業の食育優良活動表彰「農林水産大臣賞（企業部門）」を受賞 ・「おおさが環境賞」の準大賞を受賞 ・コープの森・社家郷山が環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」（500箇所）に選定 ・みんなの牧♥里プロジェクトの取り組み開始 		<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップの回収開始 ・宅配返品商品のフードバンク関西への提供開始 	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を開始（コープこうべの42事業所に電力供給）
2016	<ul style="list-style-type: none"> ・電力小売全面自由化 ・熊本地震発生 				玉津リサイクルセンターで、宅配の商品配達用ポリ袋の圧縮作業を開始	再生可能エネルギーを利用する電力供給事業を拡大（コープこうべの88事業所に電力供給）
2017			店舗でのフードドライブを初めて実施	エシカル消費の推進をスタート	鳴尾浜リサイクルセンター稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー電力を含む「コープでんき」を組合員に供給する電力小売事業を開始 ・協同購入センター伊丹がスマートKCとして稼働
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪北部地震発生 ・西日本豪雨発生 ・国連気候変動枠組条約第24回締約国会議（COP24）がポーランドのカトヴィツェで開催 	環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」策定	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪北地区でレジ袋の無料配布を中止 ・不要になった羽毛（ダウン）回収開始 ・期限の近い商品を購入する「てまえどり」を神戸市内店舗で実験展開 			<ul style="list-style-type: none"> ・店舗の管理日数切れ商品をフードバンクへの提供開始 ・脱プラプロジェクトチームの発足 ・太陽光発電の「自家発電・自家消費」の事業所を拡大
2019	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック資源循環戦略を策定 ・G20サミットが大阪で開催 ・東日本で台風大雨発生 ・新型コロナウイルスによる感染症が発生 	プラスチック使用に関する基本方針を策定	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのSDGsアクションコンテスト」として地域の未来づくりに取り組む活動を募集 ・フードドライブの常時受付開始 ・コープこうべ環境基金の助成金額・対象を拡充 ・「てまえどり」を全店展開 ・コープ西宮東など3店舗でレジ袋の無料配布を全面中止 	ラベルレスボトル飲料1本につき2円を兵庫県の「生物多様性ひょうご基金」に寄付		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電の余剰電力買取サービスを開始 ・再エネ100%事業所を開始 ・エコファームでソーラーシェアリングを開始